

第33回

厚木伊勢原ケーブルネットワーク(株) 放送番組審議会
＜議事録＞

1. 日時 平成28年3月29日(火) 午前11時～午後1時
2. 場所 厚木アクストメインタワー 5階 1会議室
3. 出席者

〔放送番組審議会委員〕

(敬称略 アイウエオ順)

相原 保	厚木市役所政策部 市制60周年東京オリンピック・パラリンピック担当部長 (代理 広報課 金子係長)
神崎 良一	宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館 館長
北村 正敏	(株)スタジオ246 代表取締役社長
齊藤 健一	前(株)厚木テレコムパーク 常勤監査役
田村 洋子	NPO 法人日本わらべうた協会 理事長
多村 幸雄	厚木商工会議所 相談役
秦 和男	厚木なかちょう大通り商店街振興組合 理事

〔厚木伊勢原ケーブルネットワーク(株)〕

村井 匡	取締役総務部長
田辺 厚	放送制作部 部長
工藤 正朝	放送制作部 放送制作課 主任

4. 議事

- (1) 厚木伊勢原ケーブルネットワーク(株) 挨拶
- (2) 会長挨拶

(3) 放送番組に関する審議

1. 平成27年度の下期放送番組について
事務局より報告

- ・10月から3月までの主だった特別番組について
県協議会の情熱プロジェクトで、神奈川駅伝やダンスバトルなど県域番組を共同放送
厚木高校の女子学生バンドのドキュメンタリー番組を制作
- ・「あつぎっ子通信」を10月から15分枠で再開
- ・「歴史探訪」が3月で終了

番組について意見交換

委員より

- ・「こちらワクワク情報局」、「元気ウエーブ」、「あつぎっ子通信」は夜見ることが多い。
- ・全ての番組は見られない。
- ・厚木の桜の見所を紹介するコーナーが良かった。
地元のトピックスをもっと取り上げて欲しい
- ・「あつぎっ子通信」のような子どもが出演する番組は加入動機につながる。
- ・投稿ビデオの投稿者が決まっているようだが、他にもいるのか？ 視聴者目線の取材も面白い。

- ・イワイガワさんが出ていた番組はあゆチャンネルを視聴する動機付けになっていたが終了してしまった、他の番組はマンネリ化してあまり関心がもてなくなっている。
- ・視聴者の声がどれだけ届いているのか？
- ・「あつぎっ子通信」再開による視聴者の反応は？
- ・「こちらワクワク情報局」はタイトルにあるワクワク感が番組に足りない。過去の情報でなく未来の情報を発信して欲しい。
- ・少子高齢化をテーマにした番組もあっていいのではないか。高齢者向け施設紹介など見てみたい。
- ・全ての人に見てもらう番組は難しいので、ターゲットを絞ることも必要。
- ・「歴史探訪」の終了はさびしい。厚木の歴史番組として復活を望む。
- ・他局制作の番組が多い。
- ・テレビショッピングが多い。
- ・他のケーブルテレビではどんな番組が人気あるのか。人気番組を見てみたい。
などの意見がありました。

特別番組

「第2回あつぎミュージックフェスティバル クリアルム本番までの116日間」を視聴委員より

- ・舞台裏も見れて良かった。
- ・番組の告知が大切。番組ガイドやホームページだけでは情報が行き渡らないのではないか。
などの意見がありました。

2. 平成28年度の放送番組編成方針

事務局より

- ・編成に大きな変更は無し
- ・地域スポーツの試合の番組化を進めたいと考えている。4月に特別番組で厚木のジムが主催し海老名で行われたキックボクシングの試合を放送する。

委員より

- ・地上波の取り上げない地域のスポーツは是非取り上げて欲しい。
- ・厚木独自の文化や地域の日常生活を残すことも大切。以前放送した「厚木の橋」のような番組を見たい。

(4) 厚木伊勢原ケーブルネットワークより謝辞

以上